



教養プロジェクト:本

3年 前鼻祥多

作品リスト

- 銃・病原菌・鉄 / ジアレド・ダイヤモンド
- テーマパーク化する地球 / 東浩紀
- 誤配の哲学 / 東浩紀
- 新復興論 / 小松理虔
- D2C / 佐々木康裕
- アマゾンのすごいルール / 佐藤将之
- ティール組織 / フレデリック・ラルー
- 融けるデザイン / 渡辺恵太
- ハマるしかけ / ニール・イヤール
- 誰が音楽をタダにした？ / スティーヴン・ウイット

銃・病原菌・鉄 – ジアレド・ダイヤモンド

- 1997年発行
- ユーラシアや北アフリカの文明がなぜ生き残り、他の文明を征服してきたのかについての説明を試みている。
- 知的、道徳的、または固有の遺伝的優位性に起因するものではなく、環境の差異に起因している。



テーマパーク化する地球 - 東浩紀

- 2019年発行
- 批評家として、哲学者として、そして経営者として、独自の思索と実践を積み重ねてきた東浩紀。その震災以降の原稿から47のテクストを選び出した評論集。



誤配の哲学- 東浩紀

- 2019年発行
- 韓国の読者に向けて語った2つのインタビューと、中国・杭州での最新講演を収録。



新復興論 - 小松理虔

- 2018年発行
- 福島県いわき市在住のアクティビストが辿り着いたのは、食、芸術、観光によって人と人をつなぐ、足下からの「地域づくり」だった。



D2C 「世界観」と「テクノロジー」で勝つブランド戦略

- 佐々木康裕

- 2020年発行
- D2Cという急成長ビジネスモデルにせまる。
- キーワードは「世界観」と「テクノロジー」



アマゾンのすごいルール – 佐藤将之

- 2018年発行
- 未来に花を咲かせるために種を植える。イノベーションし続けよ。
- 「善意」では決して働かない。働くのは「仕組み」だ。



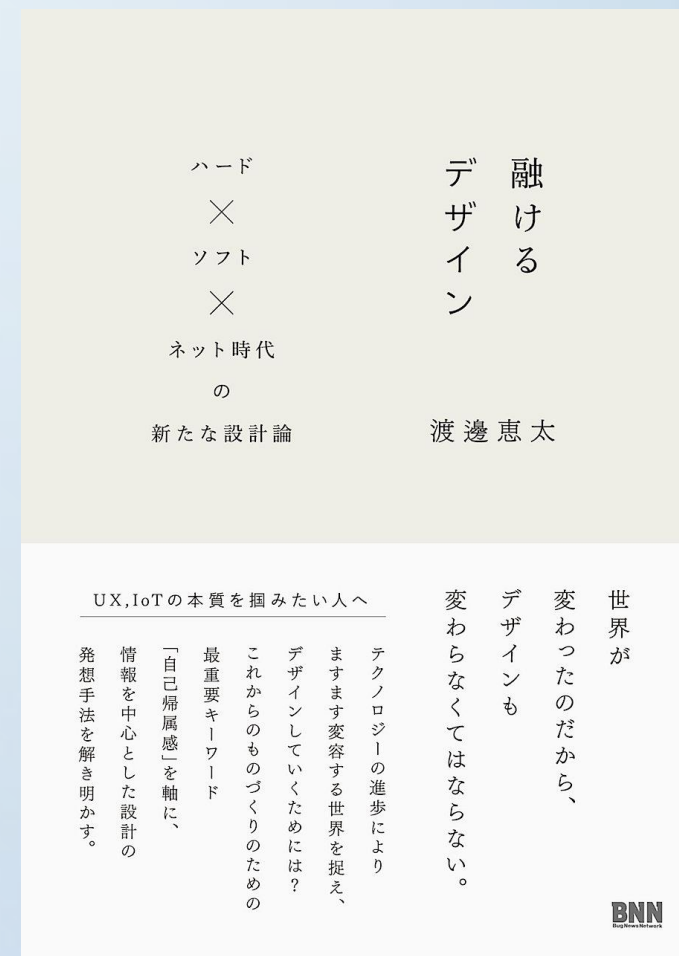
ティール組織 – フレデリック・ラルー

- 2018年発行
- 変化の激しい時代における生命体型組織へ。
- 自主経営(セルフマネジメント)、全体性(ホールネス)、存在目的を重視する独自の慣行。



融けるデザイン- 渡辺恵太

- 2015年発行
- ハードウェア、ソフトウェア、インターネットが融け合う、身体的で体験的なモノづくりの時代には、新しい設計方法論が求められる。



ハード
×
ソフト
×
ネット時代
の
新たな設計論

融ける
デザイン
渡辺恵太

UX, IoTの本質を掴みたい人へ

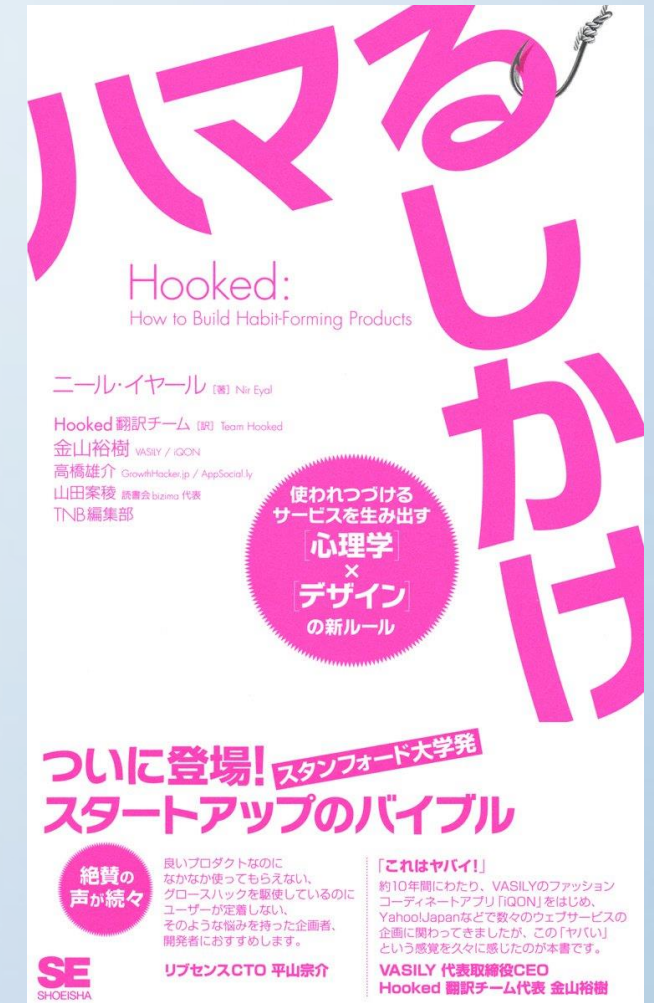
テクノロジーの進歩により
ますます変容する世界を捉え、
デザインしていくためには？
これからのものづくりのための
最重要キーワード
「自己帰属感」を軸に、
情報を中心とした設計の
発想手法を解き明かす。

世界が
変わったのだから、
デザインも
変わらなくてはならない。

BNN

ハマるしかけ - ニール・イヤール

- 2014年発行
- 使われつつけるサービスを生み出す
「心理学」×「デザイン」
- トリガー→アクション→リワード
→インベストメント



誰が音楽をタダにした？ - スティーヴン・ウィット

- 2016年発行
- mp3という革新的な音声圧縮技術の発明、海賊版音源をインターネット上に流すリーク集団の暗躍、レコード会社側の広告収入モデルへのシフト...音楽産業を「殺した」真犯人は、一体どこにいる？





教養プロジェクト:絵画



作品リスト

- ミケランジェロ / ピエタ
- ポール・セザンヌ / りんごとオレンジ
- ルノワール / Dance at Le Moulin de la Galette
- ジョルジュ・スーラ / Study for "A Sunday on La Grande Jatte"
- クロード・モネ / 睡蓮
- サルバドール・ダリ / 記憶の固執
- ジョルジョ・デ・キリコ / The solitary archaeologist
- デービッド・ホックニー / Portrait of an Artist
- Damien Hirst / A Thousand Years
- Mural by Banksy

ミケランジェロ /
ピエタ

- 1489年
- サン・ピエトロ大聖堂



ポール・セザンヌ /
りんごとオレンジ

- 1899年
- オルセー美術館



ルノワール/
Dance at Le Moulin
de la Galette

- 1876年



////////////////////////////////////
ジョルジュ・スーラ /
Study for "A Sunday
on La Grande Jatte"

- 1884年



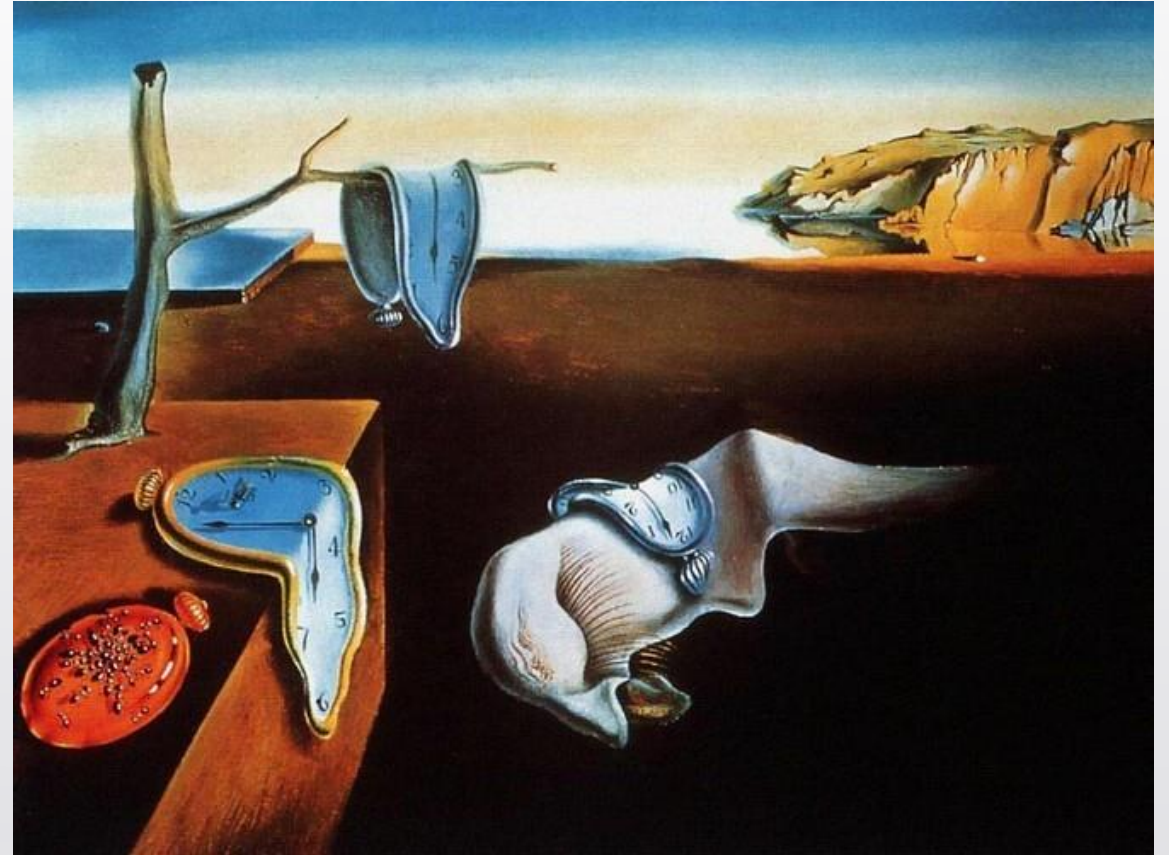
クロード・モネ /
睡蓮

- 1920年-1926年
- 画像のものは国立西洋美術館



サルバドール・ダリ /
記憶の固執

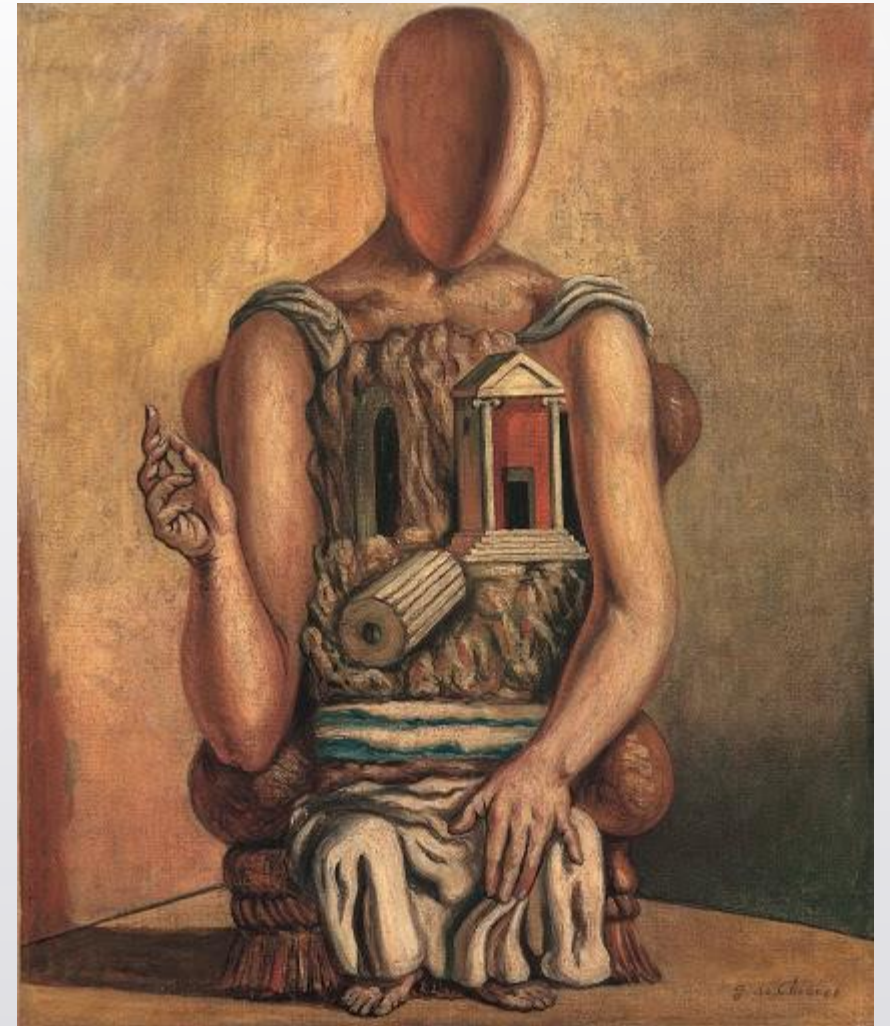
• 1931年



////////////////////////////////////

ジョルジョ・デ・キリコ /
The solitary archaeologist

- 1937年



デビッド・ホック
ニー / Portrait of an
Artist

- 1972年



////////////////////////////////////

Damien Hirst / A Thousand Years

- 1990年発表



Mural by Banksy

- 2019年





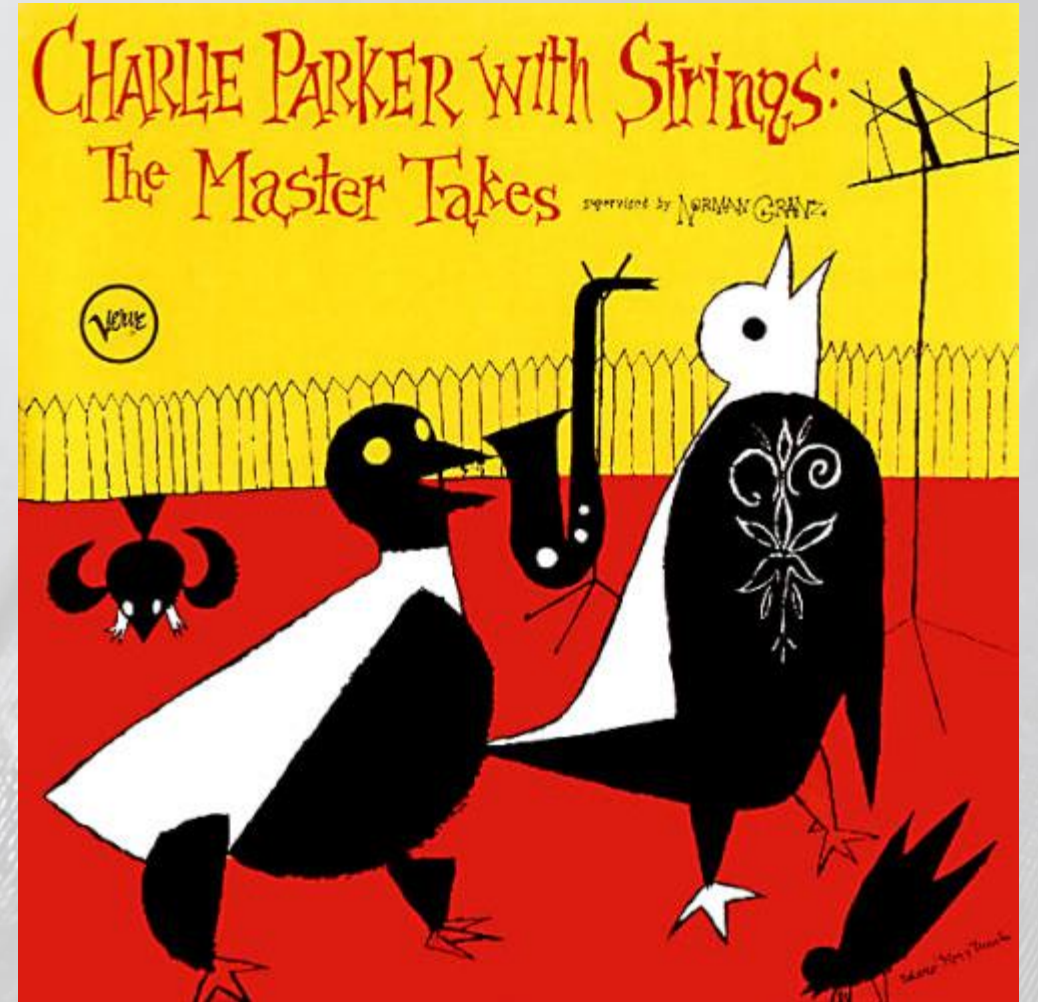
教養プロジェクト:ジャズ

作品リスト

- Charlie Parker With Strings: The Master Takes / Charlie Parker
- Somethin' Else / Cannonball Adderley
- Kind Of Blue / Miles
- Moanin' / Art Blakey & The Jazz Messengers
- Blue Train / John Coltrane
- After Midnight / Nat King Cole
- Ascension / John Coltrane
- Headhunters / Herbie Hancock
- Heavy Weather / Weather Report
- The Epic / Kamasi Washington

Charlie Parker With Strings: The Master Takes / Charlie Parker

- 1950年発表
- モダン・ジャズの父とも言われるチャーリーパーカーの作品



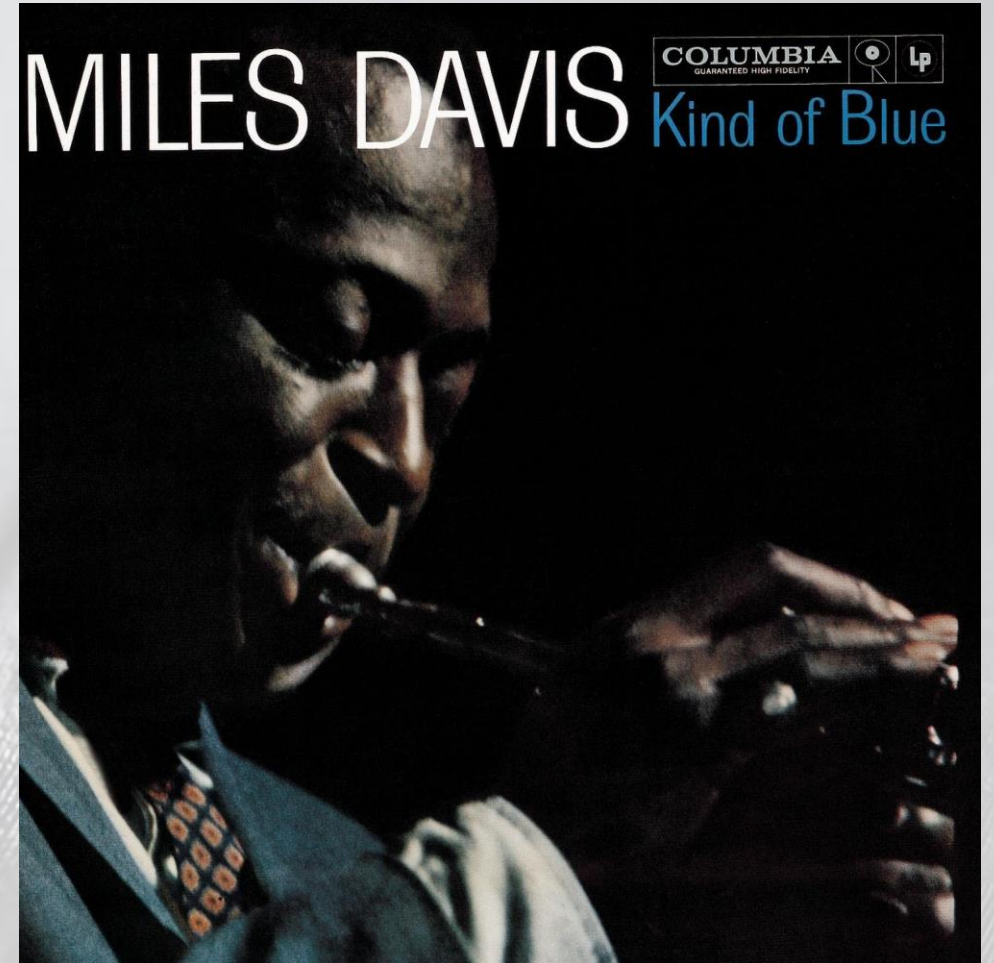
Somethin' Else / Cannonball Adderley

- 1958年発表
- 実質マイルス・デイヴィスが統制を執っている
- スタンダードのカバーを4曲収録

SOMETHIN'
ELSE
CANNONBALL
ADDERLEY
MILES DAVIS
HANK JONES
SAM JONES
ART BLAKEY

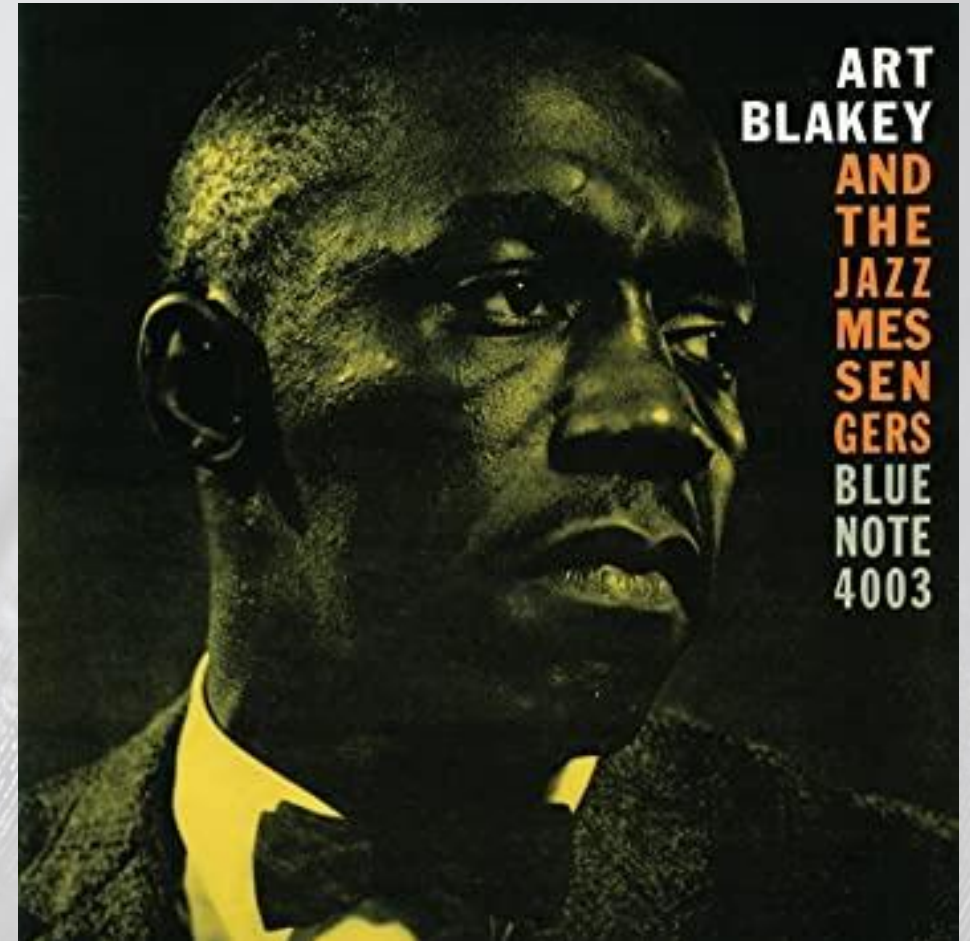
Kind of Blue / Miles Davis

- 1959年発表
- Somethin' Else に続き、キャノンボール・アダレイが参加
- モード手法を演奏様式を持ち込んだ作品



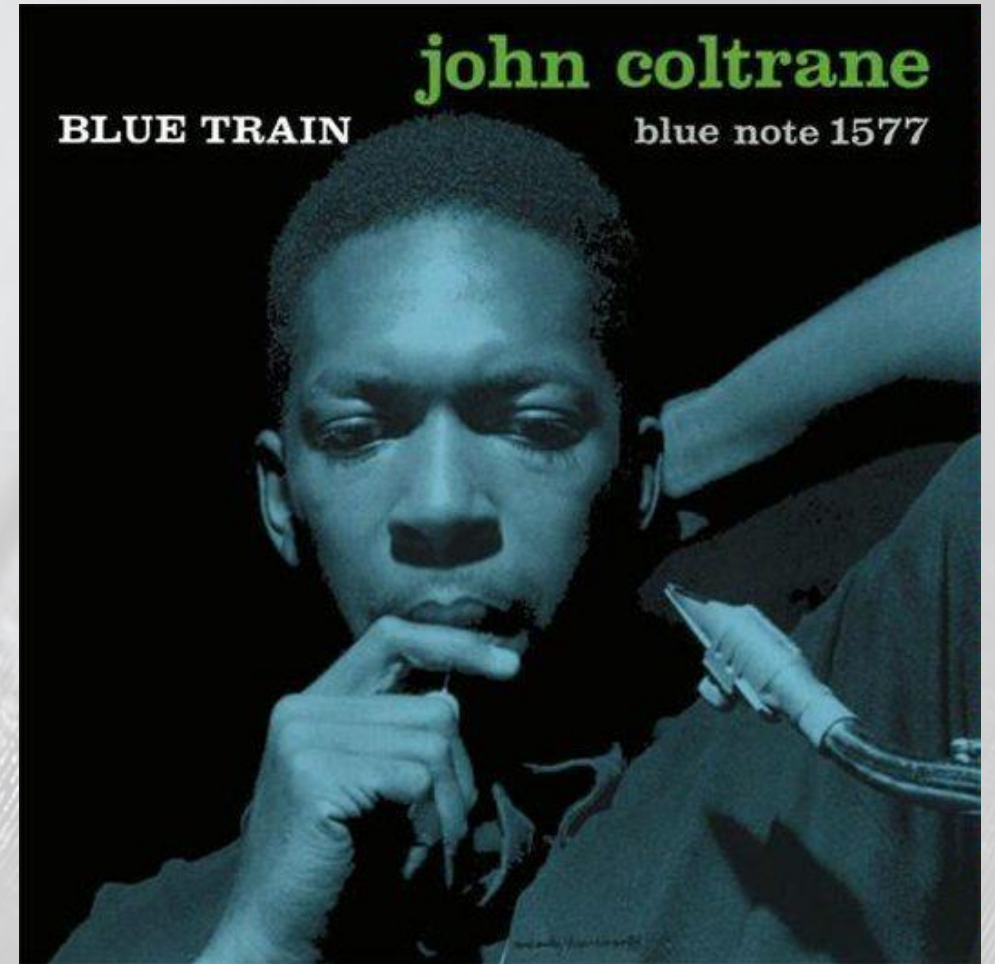
Moanin' / Art Blakey & The Jazz Messengers

- 1958年発表
- Moanin'はファンキージャズを代表する曲とされる。



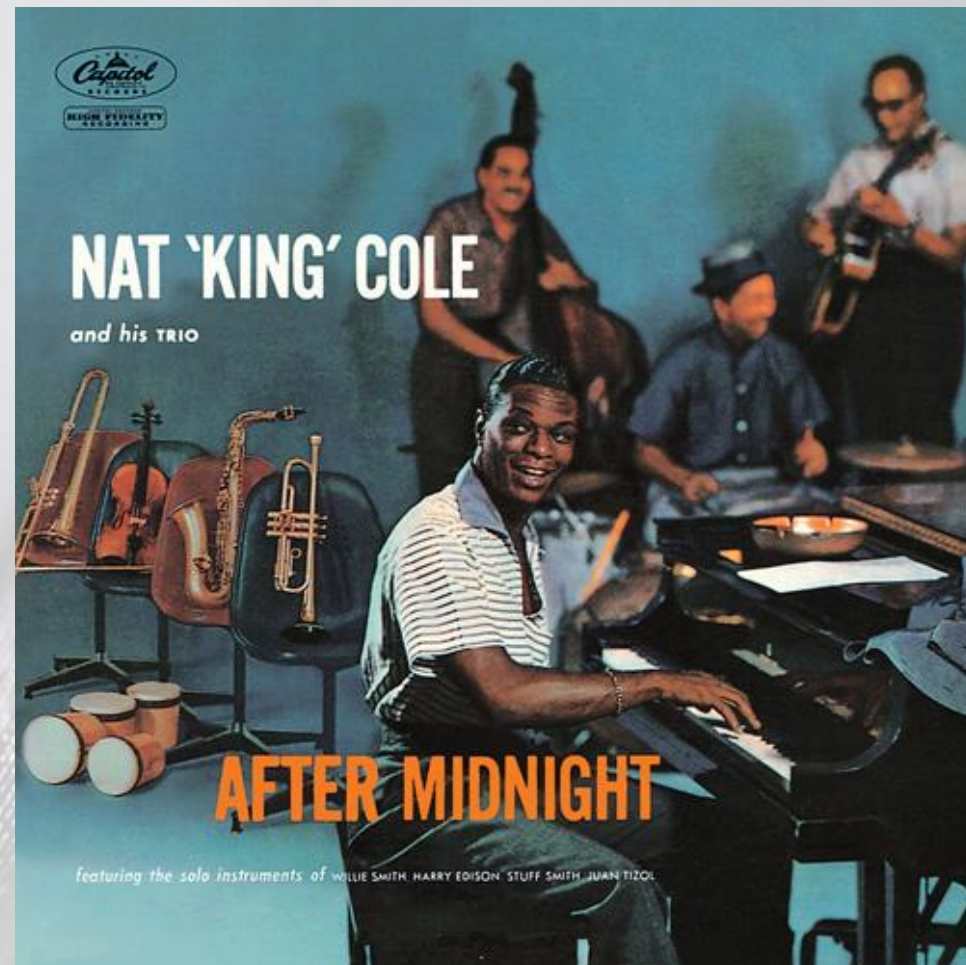
Blue Train / John Coltrane

- 1957年発表
- コルトレーンをリーダーとしたアルバムとしては唯一ブルーノートから発売された作品



After Midnight / Nat King Cole

- 1957年発表
- ナット・キング・コールとしてはストレートなジャズアルバムで原点回帰といえる作品。



Ascension/ John Coltrane

- 1965年発表
- コルトレーンが本格的に
フリー・ジャズ分野に手を
染めた作品



Headhunters/ Herbie Hancock

- 1973年発表
- ハービーのエレクトリック・ジャズ期を代表する1枚であり、後のジャズ・ファンクやジャズ・フュージョンに大きな影響を与える。



Heavy Weather / Weather Report

- 1977年発表
- 1970年代のジャズ・ロック、もしくはフュージョンのムーヴメントにおける歴史的なアルバムだと考えられている。



The Epic / Kamasi Washington

- 2015年発表
- 3枚組170分という大作
- ヒップホップやファンクでの演奏経験もあることからほかの文化も取り入れた作品となっている

